

アンケートでいただいたご意見や感想

説明会に関するご意見や感想

- 時間、時間帯共にとても良かった。
- 数回に分けて開催するべき。多くの人に参加してもらうため、オンラインでも開催したほうがよい。
- 今回はコロナ禍のため、人数制限もやむを得ないが、平常時ならば大勢の方々に参加していただきたい。
- 説明がわかりやすかった。
- 平日の夜であれば多くの方が参加できる。
- 資料がわかりやすかった。より多くの市民に聞いてもらうため、今回の説明会のように、土日開催、または午後を自由に使えるように午前中開催が望ましい。
- 質疑応答の時間が少ない。
- 話を一方的に聞かされる時間には限度がある。このような説明会は長くとも2時間以内が適切と考える。
- 配布したレジュメを活用し、簡潔な説明ができたのではないかと。
- 休日にわざわざ時間をとられるより、平日の夜に簡潔に実施してほしい。
- 市民へのお知らせを工夫してほしい。市民みんなが説明会のことを知っている、新庁舎のことを知っていることで、市民に喜ばれる庁舎が出来る。
- 新庁舎建設の必要性がわかった。市民に幅広く周知出来る市民説明会を大・小規模で数多く開催してほしい。
- 説明会があることを友人から知り（友人はラインで知ったとのこと）ホームページで確かめて参加した。もっと多くの市民に知らせてほしい。特に若い世代の人たちが未来の富士見市を創っていくので、若い人たちが参加できる手だてを工夫するべき。
- 市の平均的な構成の人たちから意見をもらう努力が必要。説明会に足を運びづらい若年層等も SNS で意見をいただける工夫が必要である。
- 時間が合わず現地に来られなかった方のために、動画を撮影し、市ホームページに掲載することはとても親切な取り組みだ。

新庁舎整備事業に関するご意見や感想

- 市役所の近くに居住して約 50 年、市役所には親近感を持って過ごしてきた。市役所の地盤が軟弱で相当沈下している。建築工学も進歩しているため、水災にも震災にも強い市役所ができることを期待する。欲を言えば、最上階から富士山を望めるような施設を併設して頂けたら親しみが持てる。
- いくつか案が出来たら示すべきである。
- 現庁舎の解体や建替工事を考慮した場合、仮庁舎はどこに建設する予定なのか。
- 大変な事業だが、しっかり頑張ってもらいたい。
- 庁舎は市の中核となるライフラインであるため、職員数ではなく、まず機能・設備・用途の検討が先である。
- おおよその概要が理解できた。
- 現在の状況は理解できた。今後、早急に計画を実施する必要がある。
- 今日の段階では未定だとしても、完成時期が示されないのが残念である。（令和 10 年度が完成は遅い）
- 早期の実現に向けて事業をすすめていくことが必要。神戸市庁舎が座屈した事例は衝撃的である。
- もっと早く建ててほしい。楽しみにしている。
- 新庁舎の説明良く理解できた。新庁舎の早期完成を望みます。
- 水害対策が第一である。
- 建替に賛成である。環境に配慮して、自然エネルギーを利用して未来志向の建設を目指し、将来 100 年使えるものとするべき。50 年で建替えることは経済的とは言い難い。
- 用途地域を変更し、鶴瀬コミセンまたはゆうゆうの丘への移転を検討すべき。水害の防災拠点機能を重視するべき。周辺が水没して島となった庁舎では防災指揮所として機能しない。
- 例えば、鶴瀬コミュニティーセンターと周りの土地を購入しての土地は検討してはどうか。
- 建設工事費 70 億とあったが全体事業費を示す必要がある。

- 現庁舎の敷地において新庁舎を建てることに賛成である。仮庁舎を建設した場合、その期間機能が分散するため、市民サービスを円滑に提供する必要がある。
- 学校、体育館、グラウンド等を活用することは検討しないのか。
- 新庁舎の建設場所は、文化の杜公園とし、現庁舎敷地を公園用地とした方が良いと考える。そうすることで仮庁舎の建設、2度にわたる移転に関わる経費が必要なくなる。
- 新庁舎を高層化し、市庁舎一部を民間に貸与すべき。
- 災害時動物も一緒に避難できる場所の確保が必要である。シェルター設置している自治体もあり、参考となると考える。
- 48年前の鶴瀬南畑水谷の合併に伴い、その当時の当事者が苦勞して立地条件の良くない場所に象徴的な意味を含めて、地権者の協力を得て建築した現庁舎が古くなってきており、難しい判断の中での検討ではあるが、災害の際には、公用車、資源回収車、議員の車なども安心できる計画を検討すべき。
- コロナ禍以降の建設ということでウイルス対策（換気）なども含め近隣市が参考とならないこともある。